（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスおれんじ坂口			
○保護者評価実施期間	2026年　4月　17日	～	2026年　5月　11日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	17	（回答者数）	15
○従業者評価実施期間	2026年5月11日	～	2026年5月15日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	9	（回答者数）	9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　5月　21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日の連絡票や日報で情報が見える化されており、引継ぎがスムーズに行えている。	連絡票・日報に役割分担や重要事項を明確に書くよう統一し、誰が見ても分かりやすい形式にしている。	連絡票・日報のフォーマットを微調整し、重要ポイントが一目で分かるように改善していきたい。
2	面積基準を満たした上で、家具の配置を工夫し、安全で活動しやすい環境を整えている。	動線を確保するため、家具を最小限にしたり配置をこまめに見直すなど、日々の環境調整を意識している。	環境チェックを日々数分だけ行い、危険物の置き場所や動線の確保などをさらに安定させたい。
3	子ども一人ひとりの特性やペースに合わせて活動を柔軟に調整できる	子どものその日の様子を職員間で共有し、活動の選択肢を用意したり、途中で疲れた場合には休憩や別メニューへ切り替えるなど、状態に合わせて柔軟に調整している。	子どもごとの“安定しやすいパターン”を共有し、活動前に短い選択タイムを取り入れるほか、活動の短縮版も準備しておくことで、当日の状態に合わせたより柔軟な対応を行いたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後の下校時間がバラバラで、活動内容の充実が難しい。	下校時間に差があり、活動開始のタイミングがそろわないため、全員が参加しやすい活動を組みにくい。	個別・小グループでも取り組める短時間活動のバリエーションを増やし、下校時間の違いに対応できるようにする。
2	地域交流の活動は行っているが、まだ広げきれていない。	地域とのつながりが限定的で、新しい交流先や協力者の開拓が追いついていない。	地域の団体・学校・企業などに少しずつ声かけを増やし、参加しやすい小規模な交流機会を広げていく。
3	マニュアルに基づく訓練が一部実施にとどまっている。	職員の業務が多く、訓練の時間を計画的に確保することが難しい。	まずは優先度の高いマニュアルから、実施できる範囲で訓練を行い、少しずつ取り組む項目を広げていく。